

## 奥出雲町立亀嵩小学校『心に残る文化財子ども塾』 「奈良の大仏づくりとそのころの奥出雲町」

### 1. 活動の概要

5月18日(木)の3・4時間目に奥出雲町立亀嵩小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。今回は「奈良の大仏づくりとそのころの奥出雲町」がテーマでした。

はじめに奥出雲町や亀嵩小学校周辺にある遺跡を紹介し、この地域の特色ある歴史が分かることを話しました。そして、奈良時代がどんな時代だったか、遺跡や『出雲国風土記』をもとにそのころの奥出雲町や学校周辺のどんな様子だったかを学習しました。座学の後には、奥出雲町内で出土した遺物を見学しました。子どもたちは実物を間近に見たり、触れたりして、古代の暮らしや道具について興味を持ったようです。



授業の様子



遺物見学

4時間目の大仏パネルの組み立て体験をしました。みんなで協力しあって約20分で完成させました。体育館一杯におさまった大仏像を見て、その大きさを実感し、大仏づくりの大変さを想像できたようです。大仏の姿や大きさなどについて次から次へと質問が出され、子どもたちの関心の高さが分かりました。大仏パネルの上ののって記念写真を撮影したあと、感想を発表してもらい、授業のまとめをしました。



組み立て中



あともう少し



大仏開眼



記念写真

## 2. 子ども塾を終えて

### 1) 児童の皆さんから…

- ・大仏パネルは楽しかったし、大きさが分かってよかった
- ・大変だったが、完成したときは達成感があり、うれしかった
- ・大仏が蓮の花の上ののっていることを知ってびっくりした
- ・大仏パネルの上でポーズをとって、よかった。
- ・大仏の手の形の意味を知ってびっくりした
- ・大仏の頭のパーマの毛の数が多かったこと
- ・当時、本当に使っていたお皿や茶わんを見られたことがよかった。実物は見たことはなかったのうれしかった。
- ・地元にも(古代寺院の)塔があったことがわかった。

### 2) 担任の先生から…

- ・本物の遺物を見たり触ったりすることができ、子どもたちにとって貴重な経験になった。
- ・奥出雲町や亀嵩・高田地区の遺跡について話をしていただき、身近に感じることができ、よきふるさと学習になった。子どものレベルにあわせたお話で、とても興味深く聞いていた。
- ・実物大の大仏づくりを体験し、その大きさを楽しみながら実感できた。天皇の力の大きさを肌で感じてくれたと思う。
- ・最後の振り返りの場面で時間が足りなくなりましたが、子どもたちは時間があつという間に過ぎたといっており、とても意欲的に、楽しく学習していたようである。
- ・私たち教員も興味深くお話を聞かせていただいた。奥出雲町や亀嵩・高田地区についていろいろ知ることができてとてもよかった。

### 3) 講師から

- ・大仏パネルづくりではみんな熱心に協力して取り組んでいて、大変良かったと思います。大仏の大きさを実感し、大仏づくりの大変さも想像できたのではないかと思います。また、この地域にも奈良時代の遺跡があり、その人々が大仏づくりを支えていたかもしれない、そのようなこと思いをはせながら、歴史を身近に感じてもらえるとうれしく思います。